

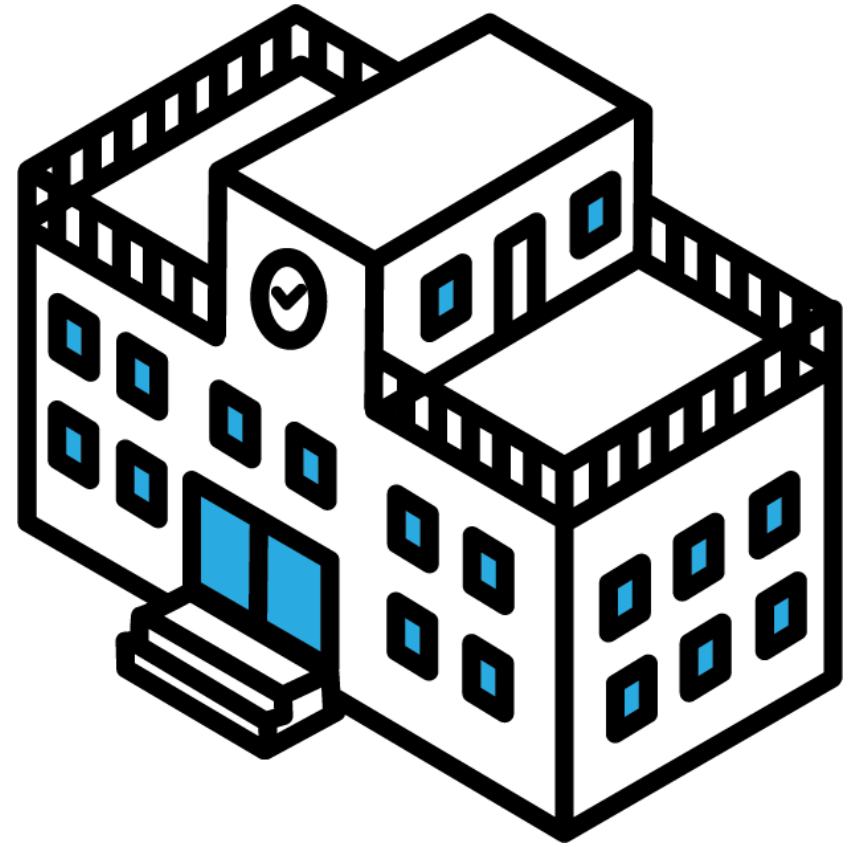
MINAMIGAOKA

ELEMENTARY

SCHOOL

第1回 運営協議会
令和7年5月19日

- 01 昨年度の総括
- 02 本年度の学校目標
- 03 めざす子ども像
- 04 3領域の取組(知・徳・体)
- 05 評価規準と評価基準 (別紙参照)



01

昨年度の総括

「知」領域

【めざす子ども像】

自ら進んで学び、聴き合い、自分の考えを表現できる子

【取組】

- ・聴き合いのための具体的な行動を共有し、それを定期的に振り返ることで、できるようになったことを積み上げる
- ・ペア活動やグループ活動など、意図的に聴き合う場面の設定
- ・聴き合う活動を録画し、視聴する

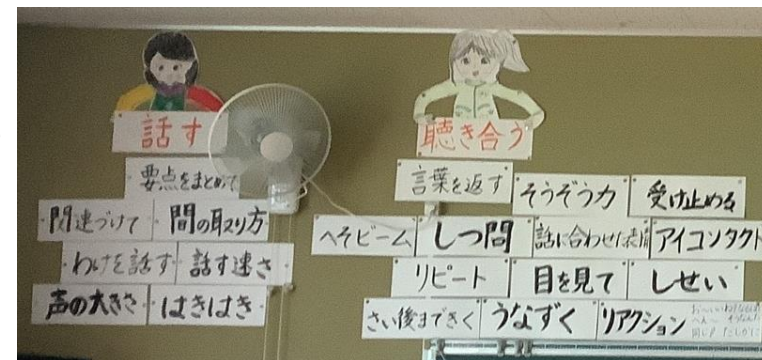
【強み・弱み】

○与えられた課題に対して、最後までやり切ろうとする児童が多い。

○自分の考えや思いを話すことができる児童が多い

▲自分で考える力が弱く、見通しが持てなかったり受け身になったりする。

▲相手の話を聴いて自分の考えを広げたり、深めたりすることができない。



[めざす子ども像]

自分を大切にするとともに、誰に対しても思いやりのある言動ができる子

気持ちをこめて、進んであいさつできる子



[取組]

- ・学級づくり
- ・自分の良さに気づくことができるような教員の言葉かけ
- ・児童会や委員会により異学年交流の場の設定
- ・教職員が率先してあいさつを行う。



[強み・弱み]

○あいさつを意識してできている

▲自分の気持ちを素直に伝えられない

▲自分には、いいところがないと考えている児童がいる。

「徳」領域

【めざす子ども像】

めあてを持って、健康な体づくりができる子



【取組】

- ・生活委員会や児童会、教員による見守り(校舎内での過ごし方)
- ・体育委員会によるイベント開催
- ・食育や給食を通して、食べ物について考える機会を持つ



【強み・弱み】

○廊下を歩くという意識をもつ児童は多いが▲それ以外の決まりに対して規範意識が薄い児童がいる。

○イベントでは、体を動かすことを楽しむことができた。

▲暑い日や寒い日は外で運動することを嫌がる子が一定数いる。

「体」領域

02

本年度の学校目標

未来を切り開く、たくましい子どもの育成

みらいにむかって
なかとともに
みんなで
がんばり
おもいやりをもち
かがやく子

03

めざす子ども像

知

進んで考え、他者と協働し、自分の学びを深める子

徳

自分も友だちも大切にし、思いやりのある言動ができる子
気持ちこめて、あいさつができる子

体

めあてを持って、健康な体づくりができる子

04

3領域の取組

＼進んで考え、他者と協働し、自分の学びを深める子／

「知」領域

課題

自分で考える力が弱く、見通しがもてなかったり、受け身になったりする。

相手の話を聴いて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができない



取組内容

- ・単元の学習の見通しから自分の考えや問いをもたせる活動の設定
- ・協働する場面（ペア・グループ活動）の設定
- ・振り返りの充実
→自らの学びを自覚する時間の確保

3領域の取組

＼気持ちをこめて、あいさつできる子／

＼自分も友だちも大切にし、思いやりのある言動ができる子／

「徳」領域

課題

普段関わりのあまりない友だちのことは、
自分事としてとらえることができない

自分の気持ちを素直に伝えられない

自分に自信のない子が一定数いる。



取組内容

・互いをつなぐ取組

・伝えられる環境や仲間づくり
→伝えてよかったという経験

・トラブルがあったときには、思いを聞く
→どうしたらよかったのか、どうすべきかを考えさせる

・教員の認める言葉がけ

・異学年交流や委員会のイベント(互いを知る)

＼めあてを持って、健康な体づくりができる子／

「体」領域

課題

廊下を歩く以外でも、学校の決まりに対して、規範意識が薄い児童がいる。

暑い日や寒い日は外で運動を嫌がる児童が一定数いる。



取組内容

- ・生活委員会や児童会の見守りを通して、学校での安全なすごし方について考え、その課題に対して学級で取り組みを行う。
- ・体育の授業や体育委員会でのイベント、学級遊びなどの実施し、体を動かすことに慣れ親しむことができるようにする。
- ・給食目標を自分で考え、めあてをもって食べる。